

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援放課後等デイサービスくら			
○保護者評価実施期間	2024年 11月 3日 ～ 2025年 1月 25日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	25
○従業者評価実施期間	2024年 11月 10日 ～ 2025年 1月 25日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	看護師が常駐しており、医療的ケア児やてんかんのあるお子様も利用可能。	看護師が常に対応可能なように、配置している。医療ケア児が過ごしやすい環境を作っている。	看護師を募集、採用し、より多くの医療ケア児が利用できるように準備していく。看護師のスキルアップをはかる。
2	十分な活動スペースを確保しているため、色んな特性のあるお子様が活動できる。	活動スペースが狭くならないように、教材や玩具を収納、保管している。	現在の活動スペースを維持していく。
3	生き物の飼育ができる環境がある。	お子様たちに危険がないよう環境を整えている。	お子様たちがお世話できるような環境にしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	医療的ケアがある方とない方全員での集団活動の実績が難しい。(調理実習では、胃ろうの方は飲食ができない)(外出レクレーションではケアの時間もあり、調整が難しいことが多い)	ケアの時間にある程度の時間指定があり、活動の途中でケアの時間になってしまうことがある。	ケアの時間を考慮して活動を実施するタイミングを考えていく。
2	看護師の配置にあまり余裕がなく、急なお休みの際に代わりの看護師の配置が難しいことがある。	看護師の人員不足が考えられる。	看護師の募集・採用を行う。また派遣の要請も検討する。
3	支援の統一が難しい。	人員不足のため、教育体制が整っていない。	人員確保。研修等で職員のレベルアップを図る。